



「志五中だより」

～響き合う学びのエリア 志五中・舟渡小ブロック～

【教育目標】・自ら考え行動し 進んで学ぶ人

・思いやりの心をもち 社会に貢献できる人

・豊かな情操と体力をはぐくみ 心身ともに健康な人

令和7年度 第9号
令和7年12月17日発行

板橋区立志村第五中学校

校長 溝口 千里

100点をめざしているあなたへ —入試時期を迎える前に—

9年生の面接練習もひと段落しました。じっくり話をする中で、新たな一面に気付くことも多く、私にとっては楽しみな取組でもあります。



入試と聞くと、まず思い浮かぶのは「テスト」でしょう。テストで100点を取ることは、誰にとっても嬉しいものです。100点とは、すべての問いに正解し、自分の答えが用意された模範解答と一致したことです。

では、少し視点を広げて考えてみましょう。「人生」における100点とは、どのようなものでしょうか。

この学校だよりを読んでいる皆さんの中でも、その捉え方は立場によって異なるはずです。生徒の皆さんにとっての「人生」は、これから先に広がる未知の世界でしょう。保護者の皆様は、ご自身の経験を重ねながら、お子さんの将来を思い描いているかもしれません。私のような世代にとっては、これまでの歩みと、変化の激しい現在を結びつけて考えるものもあります。

では、その「人生」に模範解答はあるのでしょうか。私は「ない」と思います。

東京大学名誉教授の上野千鶴子さんは、2019年の東大入学式で、「正解のある世界で生きてきた皆さんに、これから予測不可能な世界に飛び出することを期待します」と述べてい

ます。受験勉強という「正解のある世界」から、社会という「答えのない問い」に挑む世界へ踏み出すことの意味を、私たちに示している言葉です。

人にはそれぞれ個性があります。考える力が強い人、コミュニケーションが得意な人、仲間をまとめる力をもつ人。どれが優れているということではなく、自分の特性を知ることが大切です。答えのない問いに向き合うとき、必要になるのは、全員一致の正解ではなく、多様性を尊重しながら見いだす「納得解」(必ずしも全員一致ではないが、皆が納得できる落としどころ)です。「どうする、自分?」と問い合わせながら、変化の中で生きていく力が求められます。

高校入試では、部活動を志望理由に挙げる生徒も少なくありません。一つのことに打ち込む経験は、その後の人生に大きな影響を与えます。「スポーツで一生生計を立てられるのはごく一部」と言う人もいますが、結果だけでなく、同じ目標に向かって仲間と過ごした時間やそこで築いた人間関係こそが、将来の大きな財産になるのではないでしょうか。

子どもたちに勉強の意味をわかりやすく伝える活動でも知られている、お笑い芸人の小島よしおさんは、次のように語っています。

「『無駄だ、役に立たない』と思ったら無駄になるし、『何かにつながるかもしれない』と思ったら、きっとつながる」。

この言葉に、私は強く共感します。

これから入試を迎える皆さんには、ぜひこの言葉を胸に、「偏差値」や「合格・不合格」といった結果だけにとらわれすぎず、自分なりの「100点」を探し続けてほしいと思います。

地域とつながり、学びを広げます

本校では地域の方々の力をお借りしながら、学校内外で生徒が学び、活躍する教育活動を展開しています。地域人材を学校で活用するとともに、生徒が地域に出て役割を果たすことで、社会とつながる学びを深めています。

主な取組

- ・ **セーフティ教室(11月18日)**: 舟渡・蓮根おとしより相談センターの皆様を講師に迎え、7年生はヤングケアラー、9年生は認知症について学ぶ出前授業を実施しました。
- ・ 「いじめ撲滅週間」(11月21日~28日): 地域の方々にもご協力いただき、3日間の落ち葉掃きや、元舟渡小学校読み聞かせの会による絵本の読み聞かせが行われました。
- ・ **ポイ捨て防止キャンペーン(12月8日)**: 浮間舟渡駅前で板橋区・エコポリス板橋環境行動会議・舟渡町会の皆様とともに、本校ボランティア生徒が参加しました。

今後も地域との連携を大切にしながら、生徒が社会の一員として学び、成長できる教育活動を進めてまいります。



学校評価アンケートへの回答をお願いします

12月1日付で保護者様宛にお知らせしましたとおり、「令和7年度学校経営方針」に掲げた目標の達成状況を把握するため、「学校評価アンケート」を実施しています。本アンケートは、生徒、保護者、地域の学校関係者(iCS委員)、教職員の四者を対象としています。

保護者アンケートにつきましては、回収目標を60%以上としています。回答の締切は12月25日(木)です。未回答の方は、12月1日付「すぐーる」をご確認のうえ、御協力くださいますようお願いいたします。

校門脇に新たにサクラの木を植樹します

5月16日に伐採し、8月22日に伐根した校門脇のサクラについて、跡地に新たに2本のサクラを植樹することとなりました。1本は板橋区町会連合会舟渡支部から、もう1本は長後町会有志・歴代PTA会長有志・iCS委員有志・卒業生有志の皆様からの御寄贈です。

学校と地域が一体となり、生徒たちの未来への希望と絆を育むことを目的として、下記の日程で「サクラの植樹祭」を行います。当日は、御寄贈いただいた皆様に御出席いただき、生徒会役員とともに短時間の式典を行う予定です。

・**植樹祭日時:** 令和8年1月19日(月)6校時(学級活動の日)
学校公開後 15:30~15:45

・**場所:** 本校校門前

なお、業者による植樹作業は、1月17日(土)に行います。



板橋区読書感想文コンクール「特選」に入賞

「令和7年度 板橋区読書感想文コンクール」において、本校7年生の生徒が「特選」に選ばれました。12月13日(土)には中央図書館にて表彰式が行われ、板橋区長より表彰状、教育長より記念品が贈呈されました。受賞作品は、3月に文集としてまとめられる予定です。また、本区審査で特選を受賞した作品は、第71回青少年読書感想文全国コンクールの地方審査(東京都読書感想文コンクール)へ出品されます。

【生徒の活躍の様子は学校ホームページ
(学校日記)をご覧ください】

<https://www.ita.ed.jp/1320134/weblog>

※右の二次元コードをスマートフォンで読み取るか、デジタルデータ上で左のURLをクリックしていただくと、学校ホームページをご覧いただけます。

